



非常持出品・備蓄品

非常持出品は、避難するときにまず持ち出すべきものです。非常持出袋に入れ玄関など持ち出しやすい場所に置いておきましょう。非常持出品のほかに、避難生活を送るうえで必要な備蓄品についても考えておきましょう。

以下のリストを参考に、個人や各家庭で必要なものを相談し、平時から準備しておきましょう。

非常持出品

準備できたものにチェックを入れましょう

分類	品名	備考
貴重品	現金	お札のみではなく硬貨も
	通帳	
	印鑑	
情報ツール	携帯電話(スマホ)	
	携帯ラジオ	
	充電器、予備電池	
食料品	非常食	
	飲料水	
救急衛生用品	救急セット	
	薬類	
	生理用品	必要な方
	紙おむつ	必要な方
生活用品	缶切り	
	ライター、マッチ	
	懐中電灯	
	筆記具	
下着		

余裕があれば持ち出そう！

雨具、防寒具	
ヘルメット、防災ずきん	
タオル、洗面用具	
マスク	
毛布、タオルケット	
手袋、軍手	
着替え	
トイレットペーパー	
ウェットティッシュ	

備蓄品

準備できたものにチェックを入れましょう

品名
飲料水
食料品
ラップ、アルミホイル
カセットコンロ、ボンベ
ポリタンク
はさみ、カッターナイフ
大きめのポリ袋
新聞紙
ろうそく、マッチ、ライター
テント、寝袋
スコップ、ハンマーなどの防災資機材

備蓄品は、避難した後で少し余裕が出てから安全を確認して自宅へ戻り、避難所へ持ち出したり、または自宅で避難生活を送るうえで必要なものです。

救援物資が届くまでの3日間程度の生活に必要な分量を備えておきましょう。

「ローリングストック」のすすめ

食料品や生活消耗品の備蓄には「ローリングストック」を活用しましょう。「ローリングストック」とは、普段の食品を少し多めに買い置きしておき、賞味期限を考えて古いものから消費し、消費した分を買い足すことで、常に一定量の食品が家庭で備蓄されている状態を保つための方法です。



高取町

総合防災マップ



大切な命を守るために

わが家の防災メモ

いざという時の連絡先・安否情報の確認の手段などを、家族の間で確認しておきましょう。

地震	風水害
わが家の避難場所	
家族の集合場所	
災害時の緊急連絡先	

名前	生年月日	血液型	携帯電話番号	勤務先／学校の連絡先

高取町総合防災マップ



はじめに

高取町では、「高取町総合防災マップ」を令和2年度に初版を発行しました。その中には、地震、風水害、土砂災害や防災に関する情報のほか、河川の増水により堤防が決壊した時の浸水区域や浸水の深さを表示した「洪水ハザードマップ」、土砂災害警戒区域を表示した「土砂災害ハザードマップ」、それらに指定避難所等の位置を表示した防災マップを掲載しました。

初版発行から3年が経過し、その間に災害対策基本法や水防法の改正が行われました。災害対策基本法の改正では、5段階の警戒レベルが導入されたことにより、避難勧告が廃止され避難指示に一本化されました。水防法の改正では、中小河川の浸水想定区域が追加されました。そのほか、決壊した時に人的被害を与える恐れのあるため池として指定された「防災重点ため池」について作成した浸水想定区域から「ため池ハザードマップ」が作成されました。これらの変更や追加を反映させ、このたび「高取町総合防災マップ」を改訂いたしました。

「高取町総合防災マップ」を平時に確認し、自宅周辺の災害リスクや指定避難所等の位置、災害時に安全に避難できる経路を確認し、家族や地域の人たちと共有しておきましょう。

また、分かりやすい場所に保管し、災害時にすぐに取り出せるようにしておきましょう。

もくじ

避難情報伝達の流れ	1
情報の収集方法	2
地震の知識	4
地震発生時の行動	5
災害の知識	6
避難の心得	7
日頃の備え	8
避難行動判定フロー	10
避難場所等	11
洪水浸水想定区域図とは	12
高取町防災マップ	
全体図	13
土砂災害・洪水ハザードマップ	14
家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食・氾濫流)	24
浸水継続時間	26
ため池ハザードマップ	28
非常持出品・備蓄品	裏表紙

高取町総合防災マップ
発行：高取町

令和6年3月発行

△お問い合わせ先

〒635-0154 奈良県高市郡高取町観覚寺990番地1

※掲載内容は発行後に変更となる場合があります。ご了承ください。

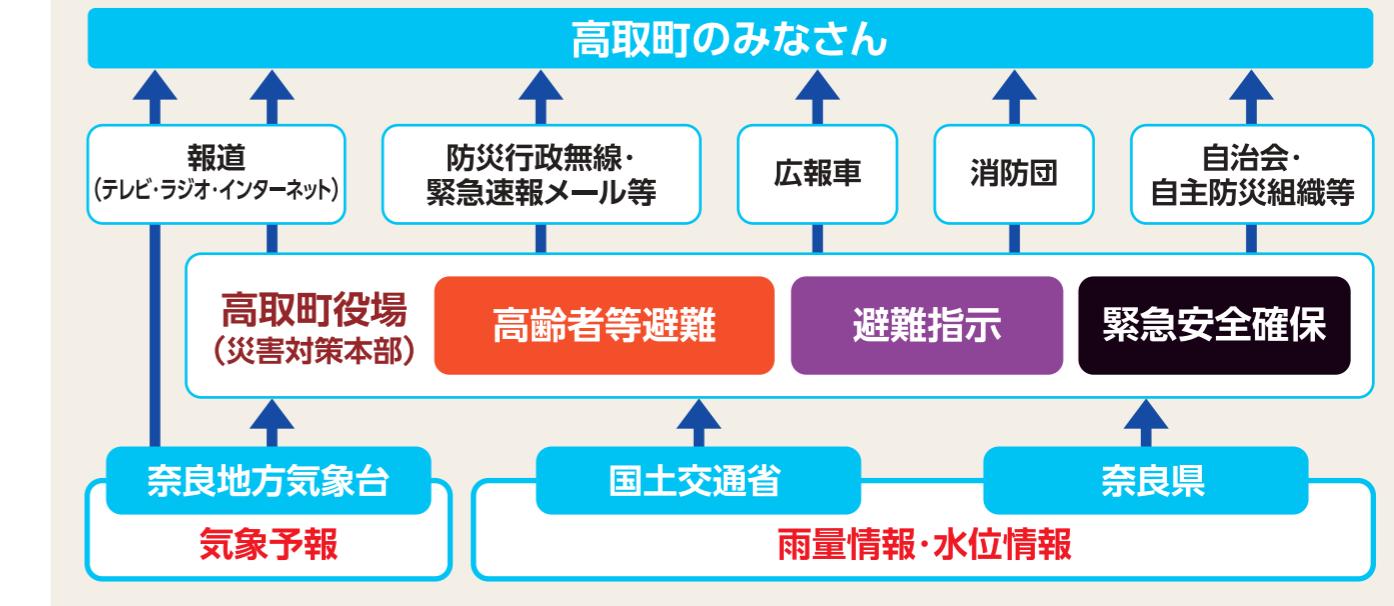
※防災マップに表示している大字界は、おおよその位置を表示したものであるため、必ずしも正確ではありません。

「測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R 5JHs 648」



避難情報伝達の流れ

避難情報の伝達経路



水害の避難情報と警戒レベル

高取町が出す 警戒レベル3 または 警戒レベル4(避難情報) で必ず避難しましょう
気象庁などから出る 河川水位 や 雨の情報を参考に自主的に早めの避難をしましょう

避難情報等 (警戒レベル)				河川水位や雨の情報 (警戒レベル相当情報)		
警戒 レベル	状況	住民がとるべき行動	避難情報等	防災気象情報(警戒レベル相当情報)	浸水の情報(河川) 土砂災害の情報(雨)	
5	災害発生 又は切迫	命の危険 直ちに安全確保!	緊急安全確保	5相当	氾濫発生情報	大雨特別警報 (土砂災害)
<i><警戒レベル4までに必ず避難!></i>						
4	災害の おそれ高い	危険な場所から 全員避難	避難指示	4相当	氾濫危険情報	土砂災害警戒情報
3	災害の おそれあり	危険な場所から 高齢者等は避難	高齢者等避難	3相当	氾濫警戒情報 洪水警報	大雨警報
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水注意報	2相当	氾濫注意情報	—
1	今後気象状況悪化 のおそれ	災害への心構えを 高める	早期注意情報	1相当	—	—

高取町長は、河川や雨の情報(警戒レベル相当情報)のほか、地域の土地利用や災害実績なども踏まえ総合的に避難情報等(警戒レベル)の発令判断をすることから、警戒レベルと警戒レベル相当情報が出るタイミングや対象地域は必ずしも一致しません。



情報の収集方法

身のまわりにある災害の危険を事前に確認し、避難など安全を図るために、早め早めに行動することが重要です。災害時に必要な情報を積極的に収集することは、自分の身を守ることにつながります。パソコンやスマートフォン(携帯電話)を通じてインターネットから情報を得られるほか、テレビやラジオからも情報収集することができます。

インターネットから

● 奈良県ホームページ

奈良県防災
ポータル

<https://www.bosai.pref.nara.jp/pc/topdis-nara.html>

気象情報を得られる気象庁ホームページや奈良県からの防災気象情報など、防災に関するホームページへのポータルサイトです。平常時にアクセスしてどのような情報があるか事前に確認してみてください。

砂防・災害対策課

<https://www.pref.nara.jp/1681.htm>

土砂災害に関するホームページです。

川の防災情報

<https://www.pref.nara.jp/43968.htm>

河川防災に関するホームページです。

● 気象庁ホームページ

気象庁ホーム

<https://www.jma.go.jp/jma/index.html>

奈良県の防災情報

https://www.jma.go.jp/bosai/#pattern=default&area_type=offices&area_code=290000

高取町の防災情報

https://www.jma.go.jp/bosai/#area_type=class20s&area_code=2940100&pattern=default

キキクル(危険度分布)

気象庁が提供する **キキクル(危険度分布)** で、高取町の状況を確認しましょう

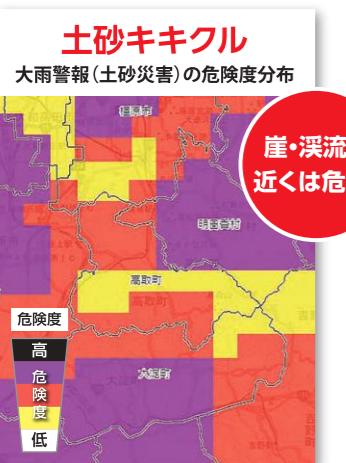
キキクル

検索



気象庁から市区町村単位の**警戒レベル相当情報**※が出されたら、お住まいの地域の状況が詳細にわかる情報「キキクル(危険度分布)」を確認してください。紫の段階では、既に災害のおそれがある状況です。

住所を登録しておけば、お住まいの地域が危険になったら自動的にスマートフォンに通知される「危険度分布通知サービス」もありますので、ご活用ください。



※市区町村単位で発表される情報には、大雨特別警報、土砂災害警戒情報、大雨警報、洪水警報などがあります。

出典:キキクル(気象庁) ※上図は過去に発表されたデータを表示しています。

キキクル(危険度分布)の画面例



出典:
キキクル(気象庁)

国土交通省 川の防災情報

<https://www.river.go.jp/index>

全国の河川の水位や降雨の情報など、水災害に関する様々な情報を紹介しています。



出典:
国土交通省
川の防災情報
ホームページ

スマートフォン用アプリ

スマートフォンを利用すれば、外出先や停電時にも情報を得ることができます。アプリによっては自動的に防災情報などの通知を受け取ることができますので、活用してください。

NHKニュース・防災

NHKが提供し、防災気象情報を発信するスマートフォン用アプリです。

iOS



Android



Yahoo! 防災速報

LINEヤフーが提供し、災害情報の配信を行うスマートフォン用アプリです。



関西停電情報

関西電力送配電が提供し、停電の発生・復旧を配信するスマートフォン用アプリです。



テレビ(データ放送)

① NHK総合テレビ(奈良放送局: 1チャンネル)を表示し、リモコンの「d(データ放送)」ボタンを押してください。

② リモコンの矢印で赤ボタン 気象情報、緑ボタン 地震・津波・火山を選択して、避難情報や避難所開設の情報をご覧ください。



大雨・洪水に関する注意報・警報について

次のような場合に、奈良地方気象台から「注意報」「警報」「特別警報」が発表されます。

大雨・洪水注意報

災害が発生するおそれがある

大雨

洪水

大雨による土砂災害や浸水害が発生するおそれがあると予想したときに発表。

大雨や融雪により、河川の増水及び堤防の損傷、並びにこれらによる浸水害が発生するおそれがあると予想したときに発表。

大雨・洪水警報

重大な災害が発生するおそれがある

大雨

洪水

大雨による重大な土砂災害や浸水害が発生するおそれがあると予想したときに発表。

大雨や融雪により、河川の増水・氾濫及び堤防の損傷・決壊による重大な浸水害が発生するおそれがあると予想したときに発表。

大雨特別警報

「警報」よりもはるかに高い危険度

大雨

台風や集中豪雨により、数十年に一度の降雨量となる大雨が予想される場合に発表。

※「洪水」は、各河川において洪水予報や水位情報を発表しているため、特別警報の設定はありません。



地震の知識

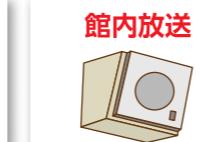
震度と揺れなどの状況(概要)



緊急地震速報

緊急地震速報は、地震発生後にその揺れを検知し、強い揺れが来る事をテレビやラジオ、スマートフォンなどで皆さんに素早く知らせる情報です。一般に、緊急地震速報を発表してから強い揺れが到達するまでの時間は、数秒から長くても数十秒程度と極めて短く、場合によっては緊急地震速報が強い揺れの到達に間に合わないことがあります。緊急地震速報を見聞きする前に地震の揺れを感じた時も行動内容は同じです。慌てずに身の安全を確保してください。

緊急
地震速報の
入手方法



地震発生時の行動

緊急地震速報がなくても
地震の揺れを感じたら…

\まわりの人にも声をかけながら/
あわてず、まず身の安全を!!

地震の揺れを感じなくても
緊急地震速報を見聞きしたら…

緊急地震速報を見聞きしてから強い揺れがくるまでの時間は **数秒から数十秒** しかありません

…家庭で屋内にいるとき

地震発生

大きな揺れは約1分

落ち着いて自分の身を守る

- 頭部を保護し、丈夫な机の下などに隠れる
- 慌てて外に飛び出さない

あわてず火の始末

- その場で消せるときは火の始末、火元から離れているときは無理に消しに行かない

●まずは自分の身を守る



…家の外にいるとき

●落ち着いて行動する

自動車運転中は

急ハンドルや急ブレーキを避け、緩やかに速度を落とす。ハザードランプを点灯して道路の左側に停車する。



鉄道やバスの中では

つり革や手すりにしっかりとかかる。



街中では

ブロック塀の倒壊や自動販売機の転倒などに注意し、これらのそばから離れる。



会社・学校では

棚やロッカーから離れ、頭部を保護して丈夫な机の下などに隠れる。



商業施設等では

施設の係員の指示に従い、落ち着いて行動する。



エレベーターでは

全ての階のボタンを押し、停まった階ですぐに降りる。



地下街では

大きな柱や壁に身を寄せ、出口を確認する。



山やがけ付近では

落石やがけ崩れに注意して、出来るだけその場から離れる。



揺れが
おさまったたら

…地震発生後
1~4分

家族を守る

- 家族の安全を確認する
- 火元を確認し、出火していたら初期消火する
- 靴を履き足元を守る
- 非常持出品を手元に用意する

…地震発生後
5分～

地域を守る

- 隣近所の安全を確認する
- 電気のブレーカーを切る・ガスの元栓を閉める
- テレビ・ラジオ・スマートフォンなどで情報を確認する



- 引き続き同程度の余震に注意し、地域ぐるみで協力して消化・救出活動
- 被害の状況やライフラインなどを確認し、避難の必要性を判断



災害の知識

風水害

雨の強さと降り方、災害の危険性

1時間雨量(mm)	10以上~20未満	20以上~30未満	30以上~50未満	50以上~80未満	80以上~
雨の強さ (予報用語)	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
人の受ける イメージ	ザーザーと降る	どしゃ降り	バケツを ひっくり返した ように降る	滝のように降る (ゴーゴーと 降り続く)	息苦しくなるよう な圧迫感があり、 恐怖を感じる
災害の 危険性	この程度の雨でも長く 続くときは注意が必要。	側溝や水路、小さな川が あふれ、道路冠水のおそれがある。 小規模のかけ崩れのおそれがある。	山崩れ、かけ崩れが起き やすくなり危険地帯では 避難の準備が必要。 都市では下水管から雨水があふれる。	都市部では地下室や地 下街に雨水が流れ込む 場合がある。マンホール から水が噴出する。 土石流が起こりやすい。 多くの災害が発生する。	雨による大規模な災害 の発生するおそれが強く、 厳重な警戒が必要。

土砂災害

土砂災害(特別)警戒区域とは

土砂災害警戒区域
(イエローゾーン)

崩壊等が発生した場合に、住民等の生命または身体に危害が生ずるおそれのある区域

土砂災害特別警戒区域
(レッドゾーン)

崩壊等が発生した場合に、建築物に損壊が生じ住民等の生命または身体に著しい危害が生ずるおそれのある区域



土砂災害の種類

土砂災害は、地震や台風、大雨などが引き金となって発生する自然災害です。発生要因や現象などにより、下に示す「土石流」、「かけ崩れ」、「地すべり」の3種類に分類されます。

土石流

山腹、川底の石や土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流される現象です。



かけ崩れ

地中にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、雨や地震などによって斜面が突然崩れ落ちる現象です。



地すべり

比較的緩やかな斜面において、地中の粘土層などの滑りやすい面が地下水の影響などにより、ゆっくりと動き出す現象です。



避難の心得

避難のポイント

情報の確認

雨や台風などの状況を、テレビ・ラジオ・インターネットなどで確認し、最新の気象情報や避難指示等に関する情報を入手しましょう。



避難時の服装

避難するときは、動きやすい格好で、二人以上の行動を心がけましょう。



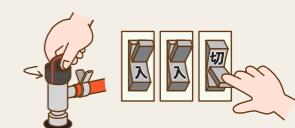
避難は徒歩で

特別な理由がない限り徒歩で避難しましょう。自動車が水に浸かると故障したりして、通行の妨げとなります。



自宅を離れる前に

自宅を離れる前に電気のブレーカーを切り、ガスの元栓を閉めましょう。また、親戚や知人に避難場所を連絡しておきましょう。



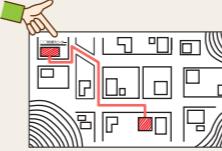
非常持出品の事前準備

避難時に持ち出す荷物は必要最低限にしましょう。



避難ルートの確認

避難は出来るだけ高い道路を選び、増水した河川や水路には近づかないようにしましょう。



要配慮者への協力

お年寄りや子供、病気の方は早めの避難が必要です。近所のお年寄りや子供、病気の方などの避難に協力しましょう。



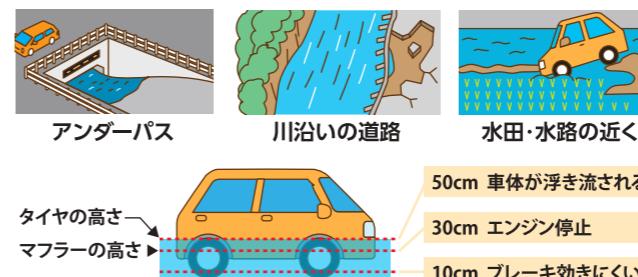
逃げ遅れた時は

建物の倒壊の危険がなく、周囲が浸水した場合には、避難所に避難するよりも、自宅の2階以上や付近のビルに避難する方が安全な時があります。



車で避難する場合の危険箇所

車で避難する場合には、浸水リスクのある下記のような場所は通らないようにしましょう。



浸水時の水平避難と垂直避難

風水害では早めの避難が重要ですが、避難所への移動(水平避難)が困難な場合や、避難ルートがすでに浸水している場合等には、近隣ビルの高層階や自宅2階へ移動(垂直避難)を行い安全を確保する方法があります。

立ち退き避難(水平避難)



屋内安全確保(垂直避難)



災害時の連絡方法:災害用伝言サービス「171」と「web171」

被災地域内と他の地域を結ぶ声の伝言板

「災害用伝言ダイヤル171」

利用ガイドに従ってご利用ください

伝言の録音方法

- ① 1 7 1 にダイヤルする
▼ガイダンスが流れます
- ② 録音する場合は 1 暗証番号を利用する録音は「3」
▼ガイダンスが流れます
- ③ 被災地の電話番号(※)、携帯電話・PHS・IP電話の電話番号をダイヤルしてください。
※市外局番からダイヤルしてください。

伝言の再生方法

- ① 1 7 1 にダイヤルする
▼ガイダンスが流れます
- ② 再生する場合は 2 暗証番号を利用する再生は「4」
▼ガイダンスが流れます
- ③ 被災地の電話番号(※)、携帯電話・PHS・IP電話の電話番号をダイヤルしてください。
※市外局番からダイヤルしてください。

家族等の安全がインターネット上で確認できる

「災害用伝言版web171」

画面の指示によりご利用ください

登録方法

- ① <https://www.web171.jp> にアクセス
- ② 電話番号を入力
被災地の電話番号(※)、携帯電話・PHS・IP電話の電話番号を入力してください。
- ③ 画面の指示に従って、文字による伝言を登録してください。

閲覧方法

- ① <https://www.web171.jp> にアクセス
- ② 電話番号を入力
被災地の電話番号(※)、携帯電話・PHS・IP電話の電話番号を入力してください。
- ③ 画面の指示に従って、文字による伝言の追加登録をしてください。

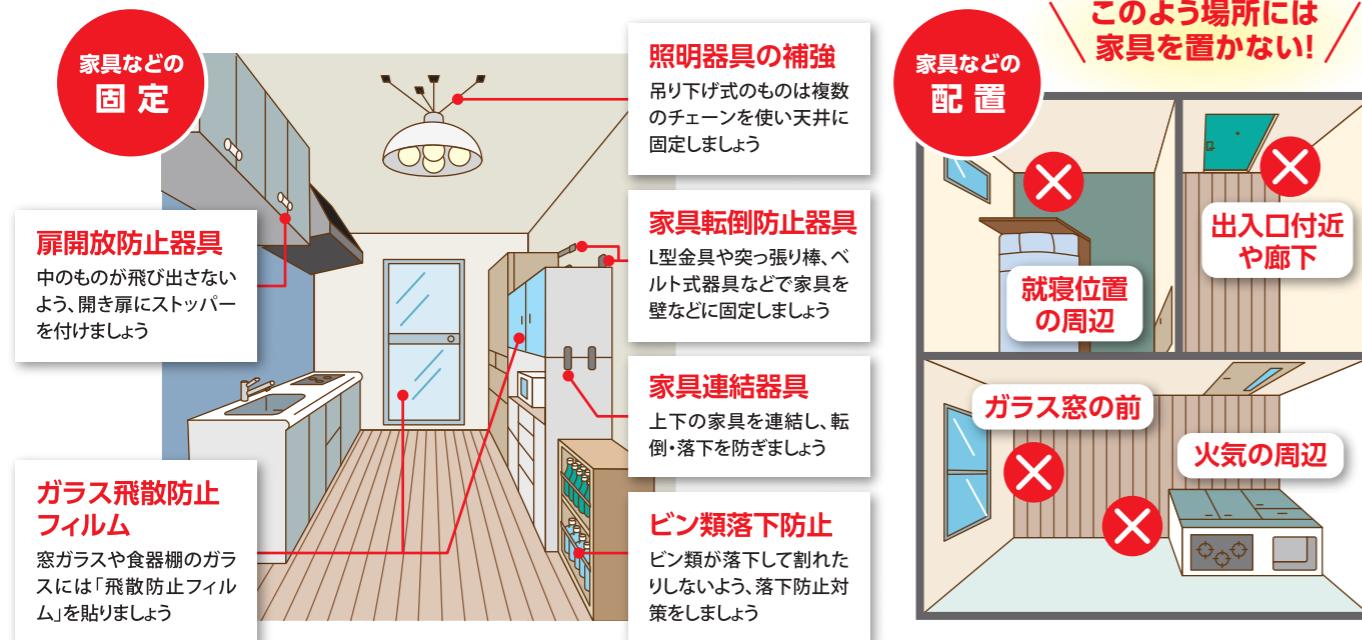


日頃の備え

地震への備え

阪神・淡路大震災や新潟県中越地震などでは、多くの方が倒れてきた家具の下敷きになって亡くなったり、大けがをしました。大地震が発生したときには「家具は必ず倒れるもの」と考えて、転倒防止対策を講じておく必要があります。

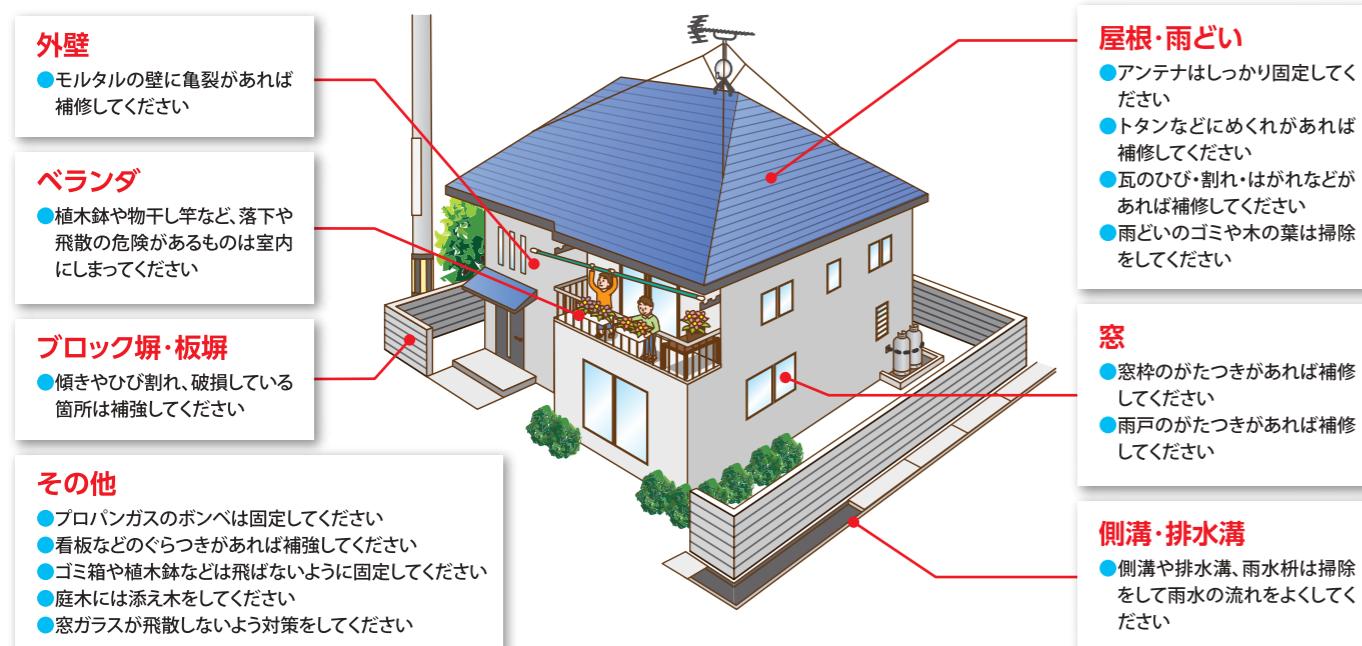
- 家具が転倒しないよう、家具は壁に固定しましょう
- 寝室や子ども部屋には、できるだけ家具を置かないようにしましょう。置く場合も、なるべく背の低い家具にするとともに、倒れた時に出入り口をふさいだりしないよう、家具の向きや配置を工夫しましょう
- 手の届くところに、懐中電灯やスリッパ、ホイッスルを備えておきましょう



風水害への備え

雨が降ったり、風が強くなったりする前に、窓や雨戸はしっかりと閉め、必要に応じて補修・補強する、側溝や排水溝は掃除して水はけをよくしておく、風で飛ばされそうな庭木やプロパンガスなどは飛ばされないように固定したり、家中へしまったりする、自動車のガソリンを満タンにしておくなど、家の外の備えをしておきましょう。

雨や風が強くなってからでは、屋外での作業は非常に危険です。



竜巻・落雷への備え

近年、竜巻や落雷といった災害が増加傾向にあります。発生する要因など、正しい知識を身につけ、速やかに避難できるようにしましょう。

「発達した積乱雲」の下で「急な大雨」「雷」「竜巻」が発生し、大きな被害につながります。
次のような「発達した積乱雲」が近づいている兆候に注意しましょう。

兆候

- 真っ黒い雲が近づき、周囲が急に暗くなる。
- 雷鳴が聞こえたり、雷光が見えたりする。
- ひやっとした冷たい風が吹き出す。
- 大粒の雨や「ひょう」が降り出す。

ナウキャスト 検索



竜巻

竜巻は、上昇気流により発生する激しい渦巻きです。自動車や家が飛ばされたり、飛来物との衝突により甚大な被害が発生することがあります。



竜巻が近づいたら

- すぐに頑丈な建物に避難しましょう。
- 窓、雨戸、カーテンを閉め、窓ガラスから離れ、家の中心部にいましょう。
- 頑丈な机の下に入り、頭部と首を守りましょう。
- 屋外にいる場合は、飛来物から身を守りましょう。

雷は、積乱雲の位置次第で、海面、平野、山岳など、場所を選ばず落ちます。また周囲より高いものほど落ちやすい特徴があります。



落雷

落雷が近づいたら

- すぐに建物や自動車、バス、列車などの乗り物の中に避難しましょう。
- 建物などに避難できない場合は、電柱や木などの高いものから4m以上離れて姿勢を低くしてください。

自助・共助・公助について

災害の発生を完全に防ぐことは不可能ですが、災害に対する日頃の備えや避難の徹底などを図ることにより、被害を減らすことは可能です。より一層被害を減少させるためには、公助だけでなく、自助を実践し、共助に努めることが必要かつ不可欠です。そして、これら自助、共助及び公助が一体となって、相互に連携して、防災対策に取り組むことが重要です。

自助

「自分の命は自分で守る」

災害発生時に家族が慌てず行動できるよう避難ルートや避難場所を決めておきましょう。また外出先で災害が発生した場合の安否確認方法や集合場所についても事前に決めておきましょう。

共助

「自分たちのまちは自分たちで守る」

住民同士が協力して自主的につくる自主防災組織などに積極的に参加して、地域において互いに助け合って地域の安全を確保する取り組みをしましょう。

公助

「奈良県や高取町の取り組みで町民を守る」

行政機関(国、奈良県、高取町、消防、警察、自衛隊など)の活動です。各機関とも、災害発生時には町民の皆さん的生命、身体及び財産を保護する活動を行います。

町民の皆さん

自助

自主防災組織事業者

共助

国・奈良県
高取町など

公助

自助・共助・公助が一体となって
地域防災力が向上

自主防災組織への参加

自主防災組織とは

「自分たちの家族やまちは自分たちで守る」という意識のもと、地域住民が自主的に結成する防災組織です。「災害に強いまち高取町」を作るため、積極的に自主防災組織に参加しましょう。

防災講習会



平常時の主な活動

- 防災知識の普及
- 地域の災害危険箇所の把握
- 防災訓練の実施
- 火災使用設備器具等の点検
- 防災資機材の備蓄と整理・点検

災害発生時の主な活動

- 災害情報の収集、住民への迅速な伝達
- 出火防止と初期消火
- 避難誘導・被災住民の救出・救護
- 給食・給水



洪水浸水想定区域図とは

洪水浸水想定区域図は、洪水時の円滑かつ迅速な避難を確保し、又は浸水を防止することにより、水害による被害の軽減を図るため、河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域と水深を示した図です。

これまで「水位周知河川」として指定された大和川水系曾我川、高取川の2河川を対象としていましたが、従来は指定対象ではなかった大和川水系と紀の川水系の中小河川を追加することにより、水害リスク情報の空白地帯を解消することを目指しています。洪水浸水想定区域図では、それぞれの河川の浸水する範囲を重ね合わせた最大値を表示しています。

降雨条件について

洪水浸水想定区域図は、**大和川水系**においては「12時間総雨量316mm」、**紀の川水系**においては「48時間総雨量678mm」の降雨量を想定した結果にもとづいており、想定を超える規模の降雨による氾濫や内水による氾濫等を考慮していません。

そのため、この**洪水浸水想定区域図**に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が**実際の浸水深**と異なる場合があります。

洪水浸水想定区域図の種類と表示内容

浸水想定最大規模

過去にその地域で実際に降った降雨から想定される最大規模降雨により堤防が決壊したり、溢れたりした場合に、その氾濫水により浸水が想定される区域と水深を表示しています。

浸水継続時間

想定最大規模降雨における洪水時等に避難が困難となる一定の浸水深(0.5m)を上回る時間の目安を示すものです。

家屋倒壊等氾濫想定区域 (氾濫流)

一般的な構造の木造家屋について、水深と流速から倒壊等をもたらすような氾濫流が発生するおそれのある区域を推算しています。頑強な高層のビルがある場合には、倒壊等のおそれは低いため、ただちに立退き避難が必要との判断にはならない場合もあります。

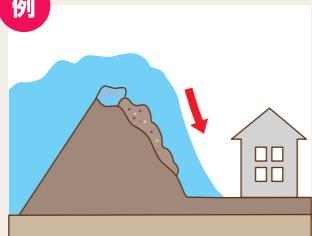
家屋倒壊等氾濫想定区域 (河岸侵食)

家屋の基礎を支える地盤が流出するような河岸侵食が発生するおそれのある区域を推算しています。過去の洪水規模別に発生した河岸侵食幅より、木造・非木造の家屋の倒壊等をもたらすような洪水時の河岸侵食幅を河岸高(堤内地盤高と平均河床高の差)や川幅等から推算しています。

氾濫流(はんらんりゅう)

堤防の決壊に伴う激しい流れのこと

例



河岸侵食(かがんしんしょく)

激しい川の流れにより堤防や家の基礎を支える地盤が削られること

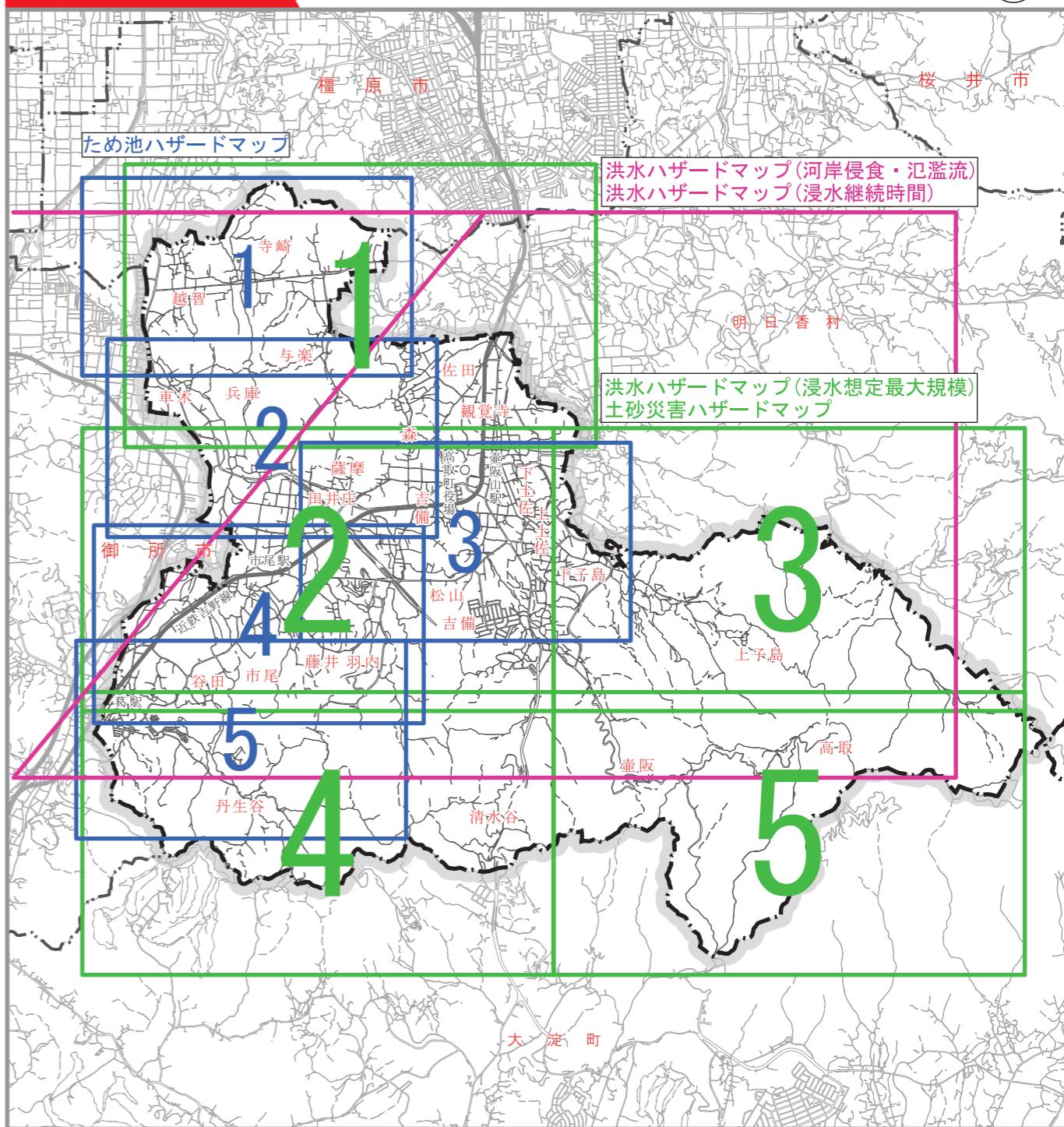
例



高取町防災マップ

全体図

1:50,000
0 500 1000 1500m
N



洪水ハザードマップ(浸水想定最大規模)
土砂災害ハザードマップ

14 ~ 23

洪水ハザードマップ (浸水継続時間)

26

洪水ハザードマップ
家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食・氾濫流)

24

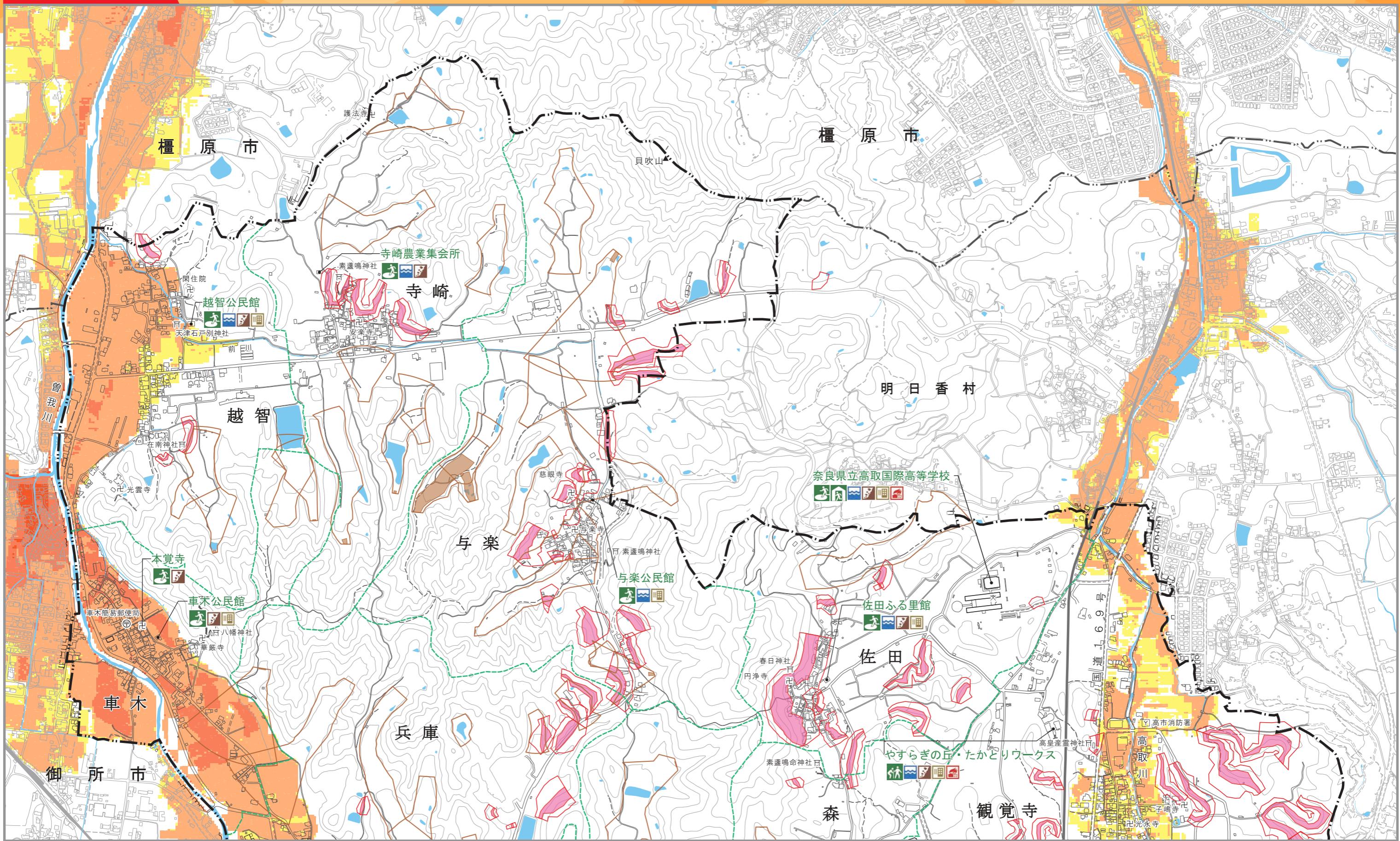
ため池ハザードマップ

28 ~ 37

1:10,000
0 100 200 300m

洪水ハザードマップ (浸水想定最大規模) 土砂災害ハザードマップ

詳細図 1

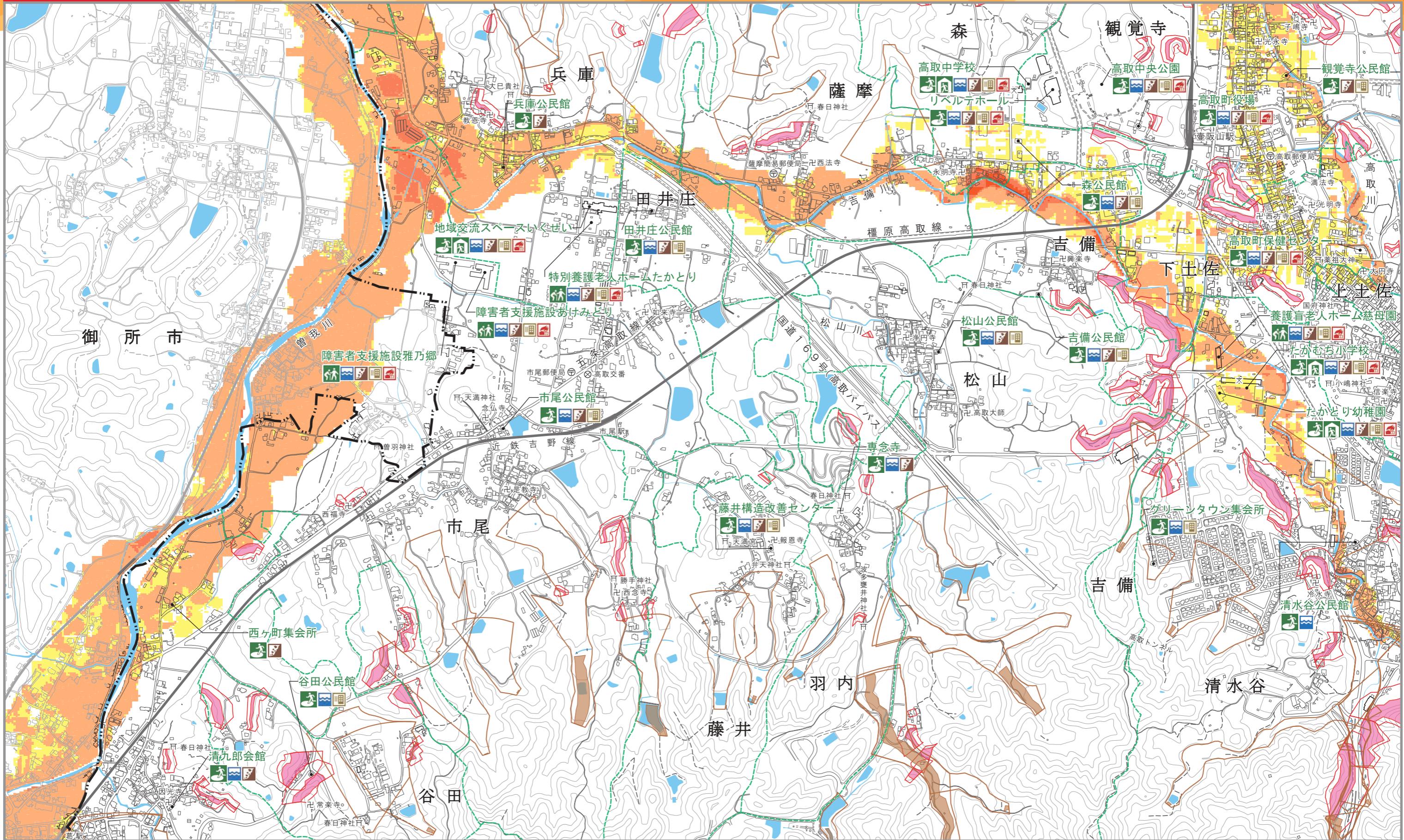


1:10,000
0 100 200 300m



洪水ハザードマップ (浸水想定最大規模) 土砂災害ハザードマップ

詳細図 2

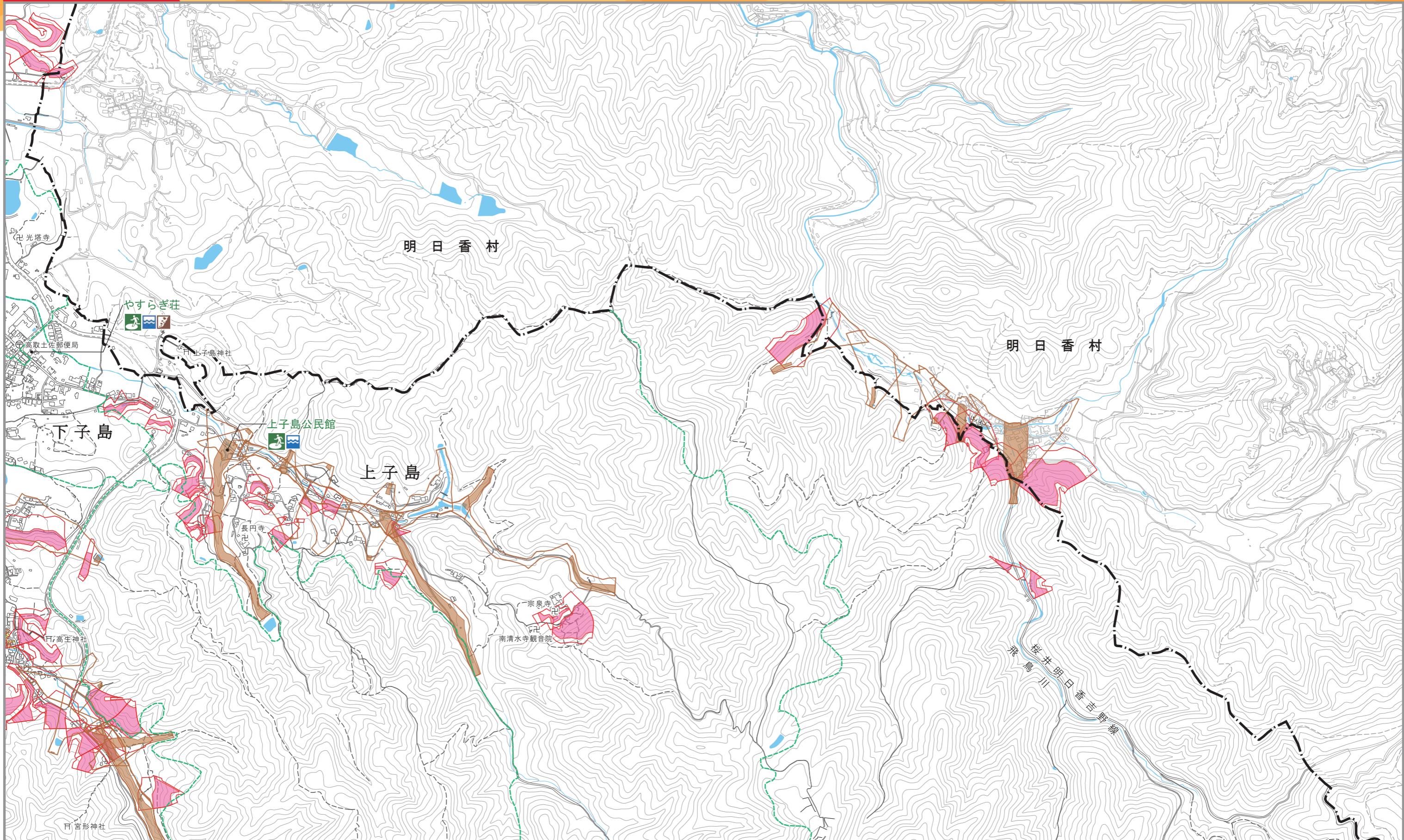
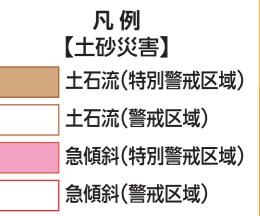


1:10,000
0 100 200 300m



詳細図 3

洪水ハザードマップ (浸水想定最大規模) 土砂災害ハザードマップ

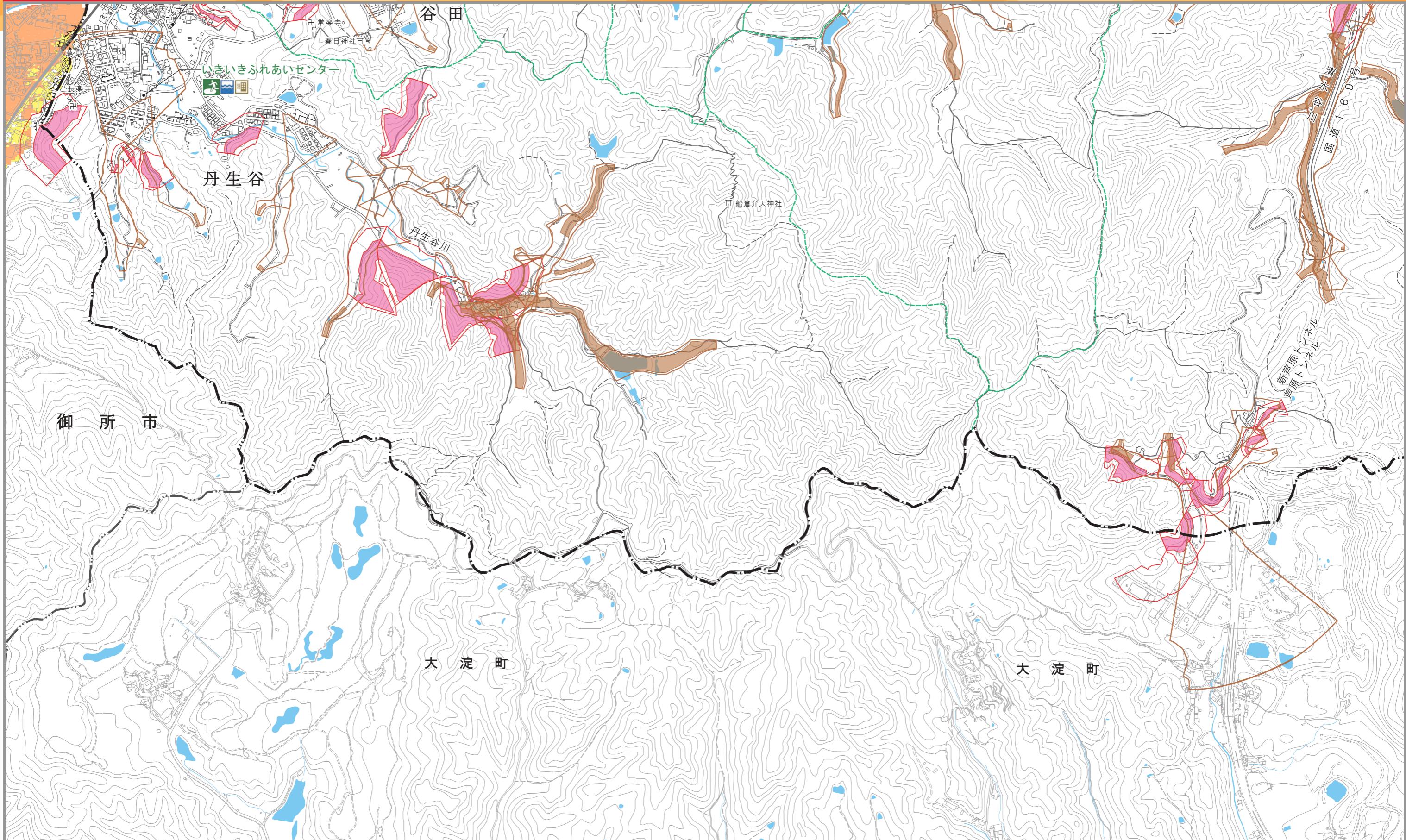


1:10,000
0 100 200 300m



詳細図 4

洪水ハザードマップ (浸水想定最大規模) 土砂災害ハザードマップ



1:10,000
0 100 200 300m



洪水ハザードマップ (浸水想定最大規模) 土砂災害ハザードマップ

詳細図 5



指定緊急避難場所



指定避難所



福祉避難所

対応可能
な災害



洪水



土砂
災害



地震



大規模な
火災

町役場



消防署



警察署・交番

凡例
【浸水想定区域と浸水深】

5.0m~10.0m未満

3.0m~5.0m未満

0.5m~3.0m未満

0.5m未満

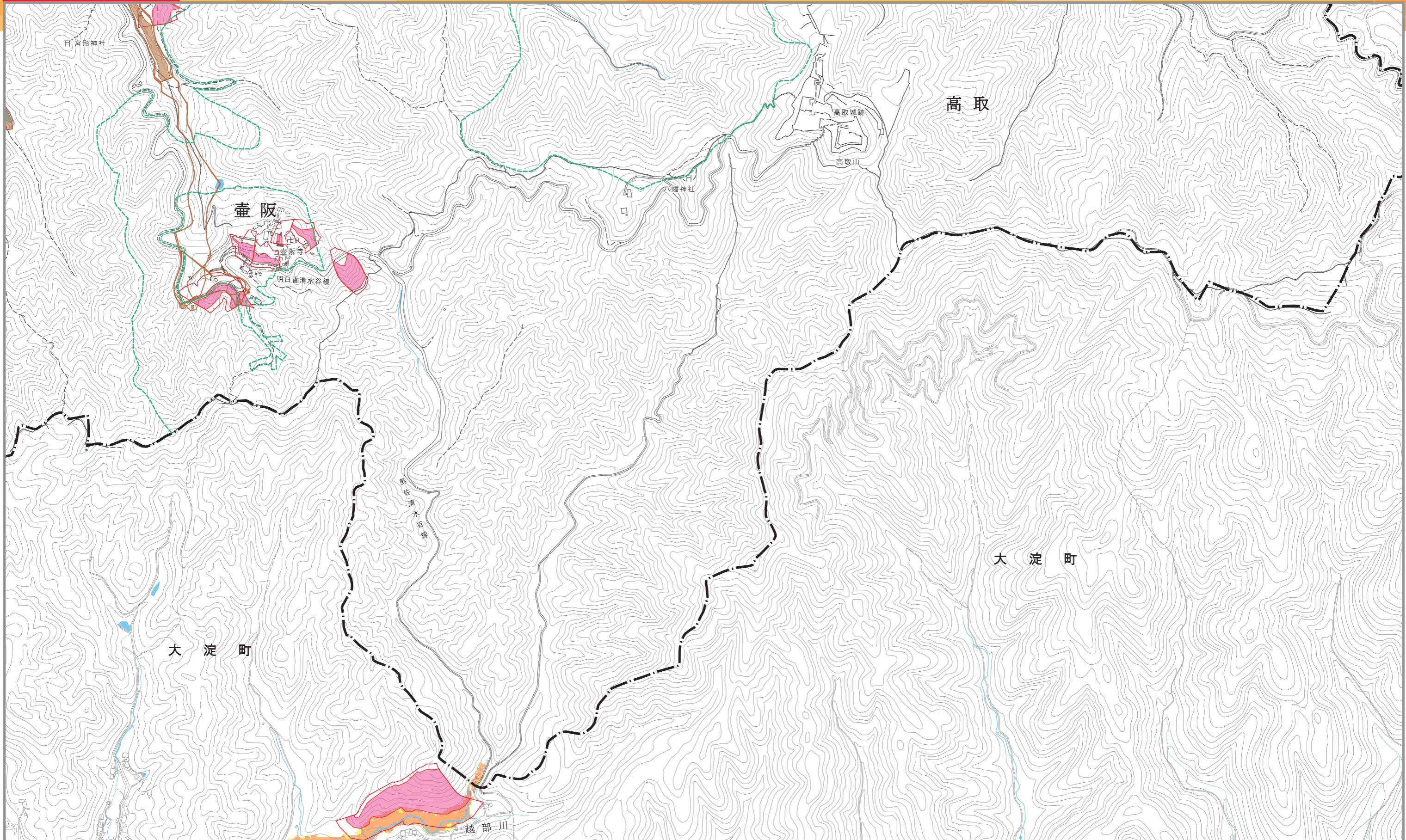
凡例
【土砂災害】

土石流(特別警戒区域)

土石流(警戒区域)

急傾斜(特別警戒区域)

急傾斜(警戒区域)

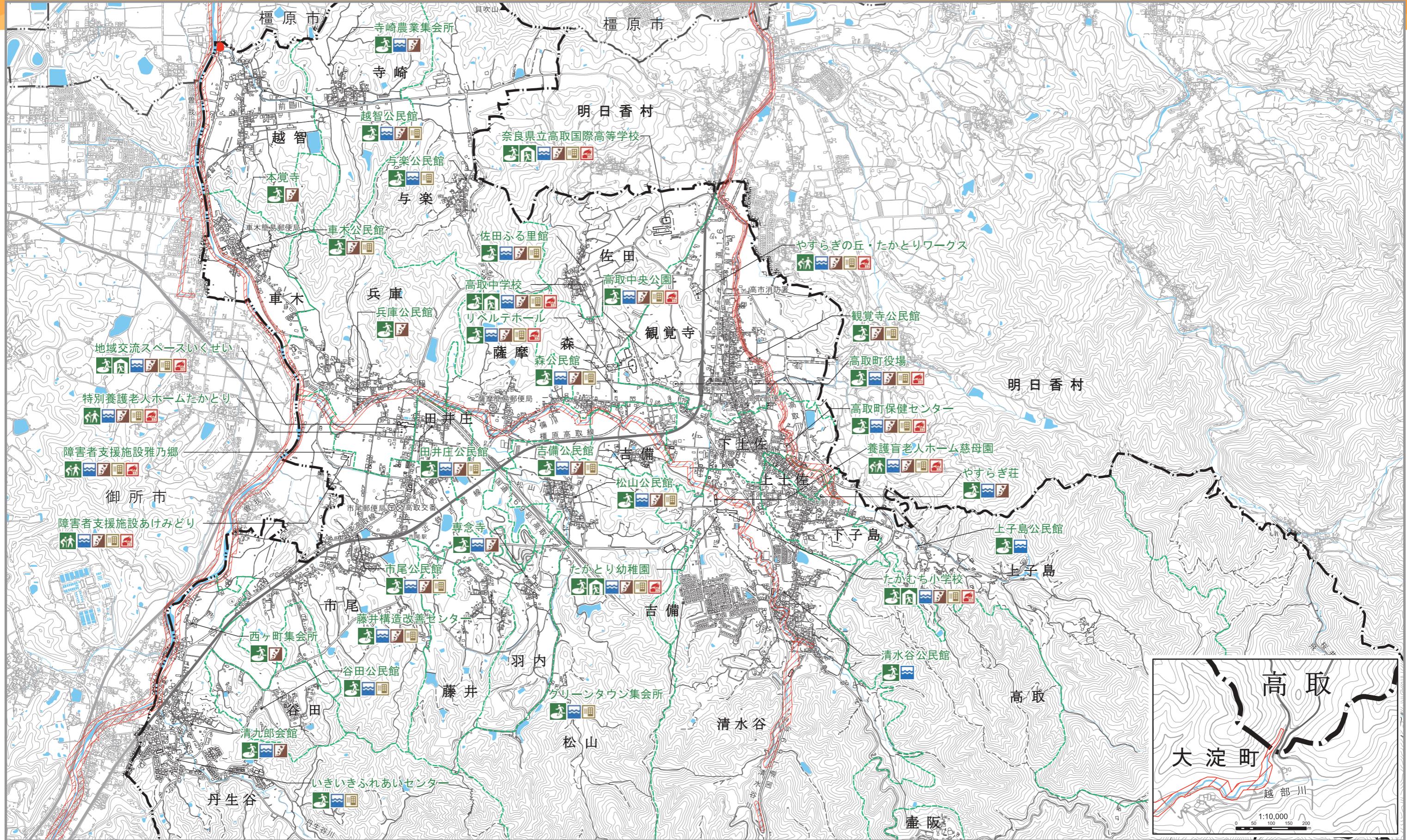


洪水ハザードマップ 家屋倒壊等氾濫想定区域 (河岸侵食・氾濫流)

1:20,000
0 200 400 600m

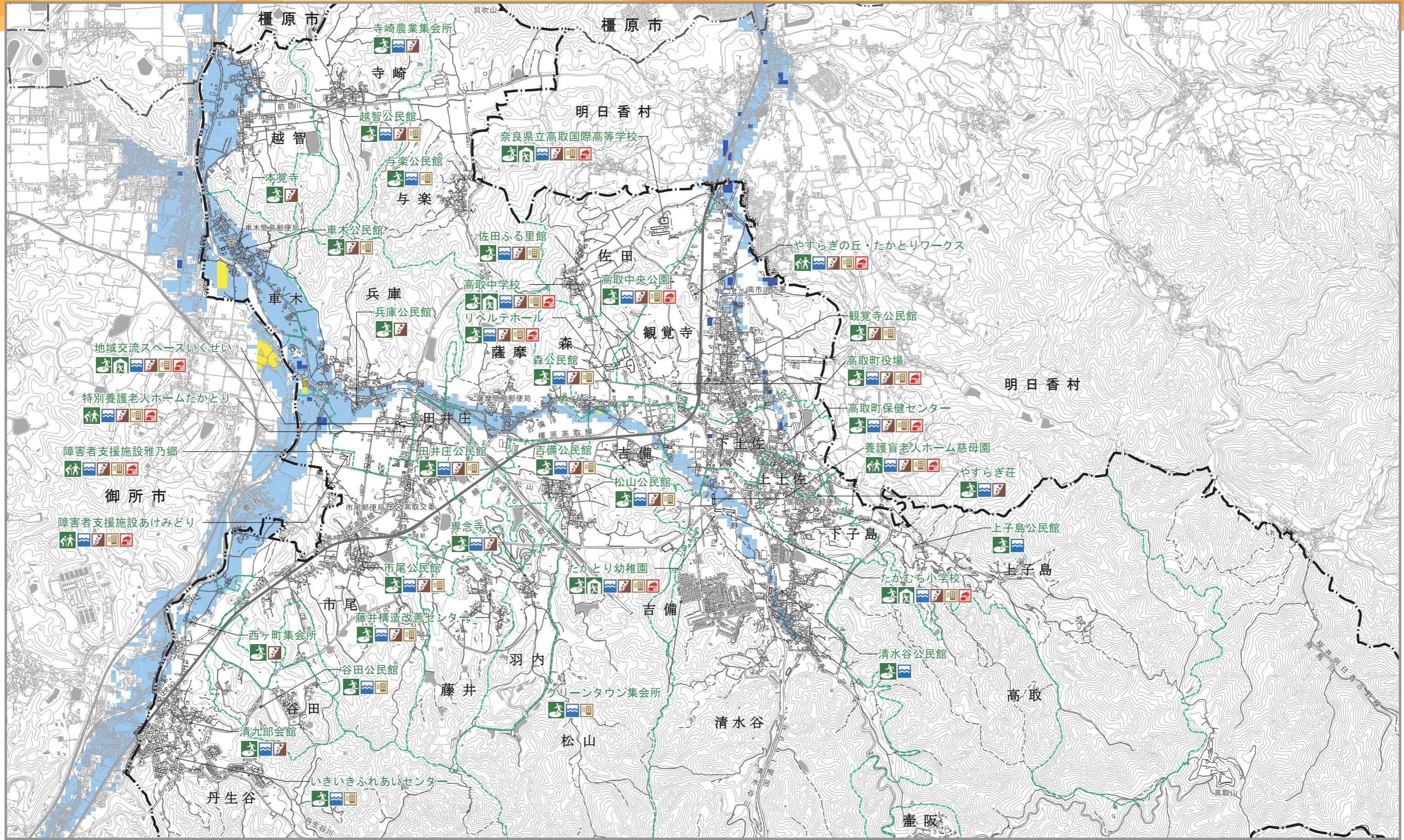
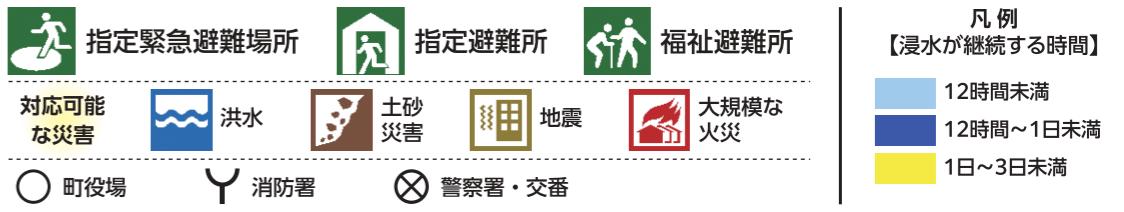


河岸侵食
氾濫流



洪水ハザードマップ (浸水継続時間)

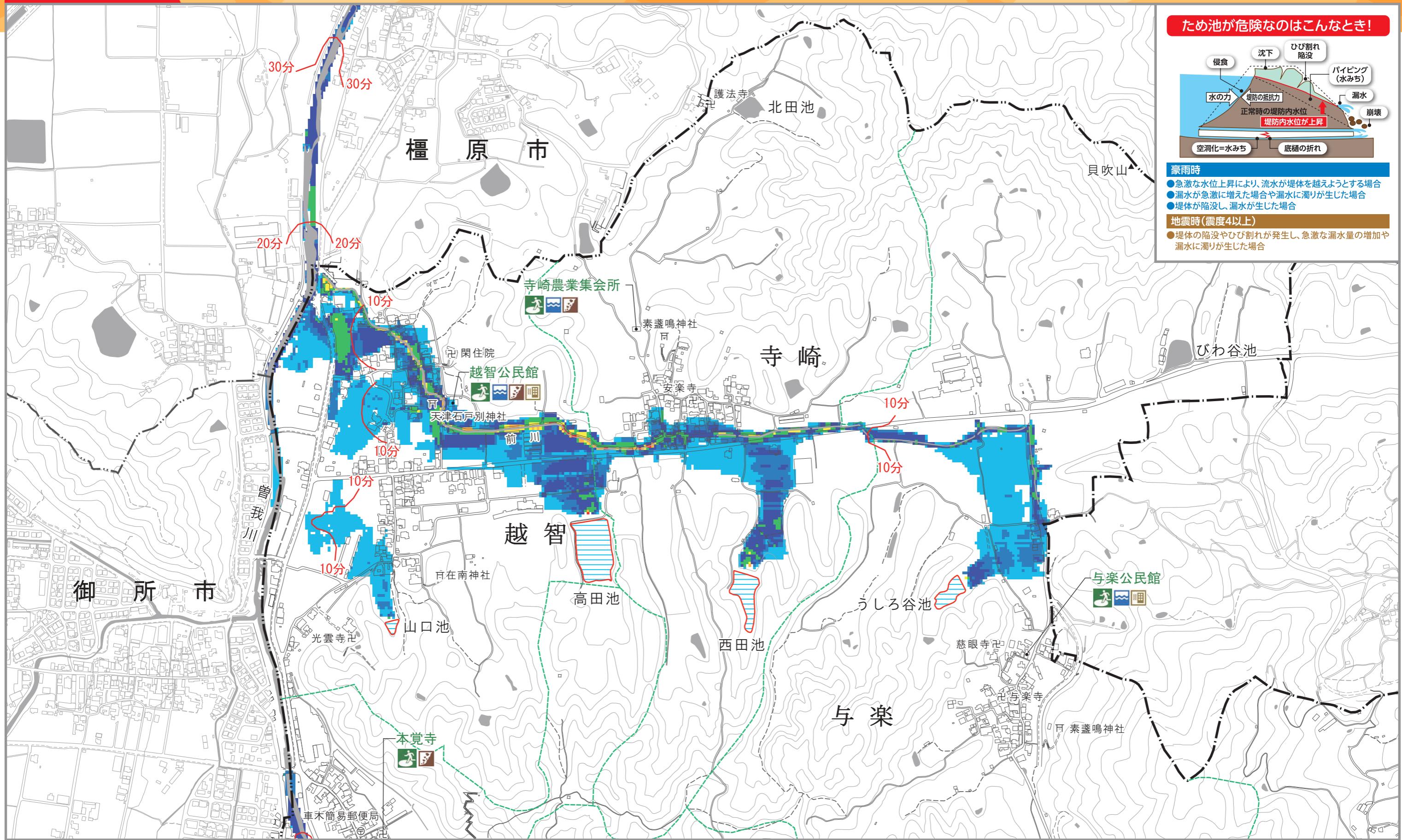
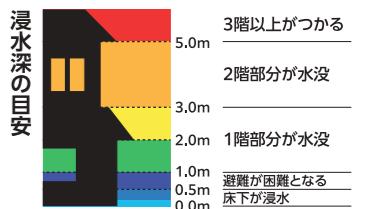
1:20,000
0 200 400 600m



1:7,000
0 100 200m N

ため池ハザードマップ

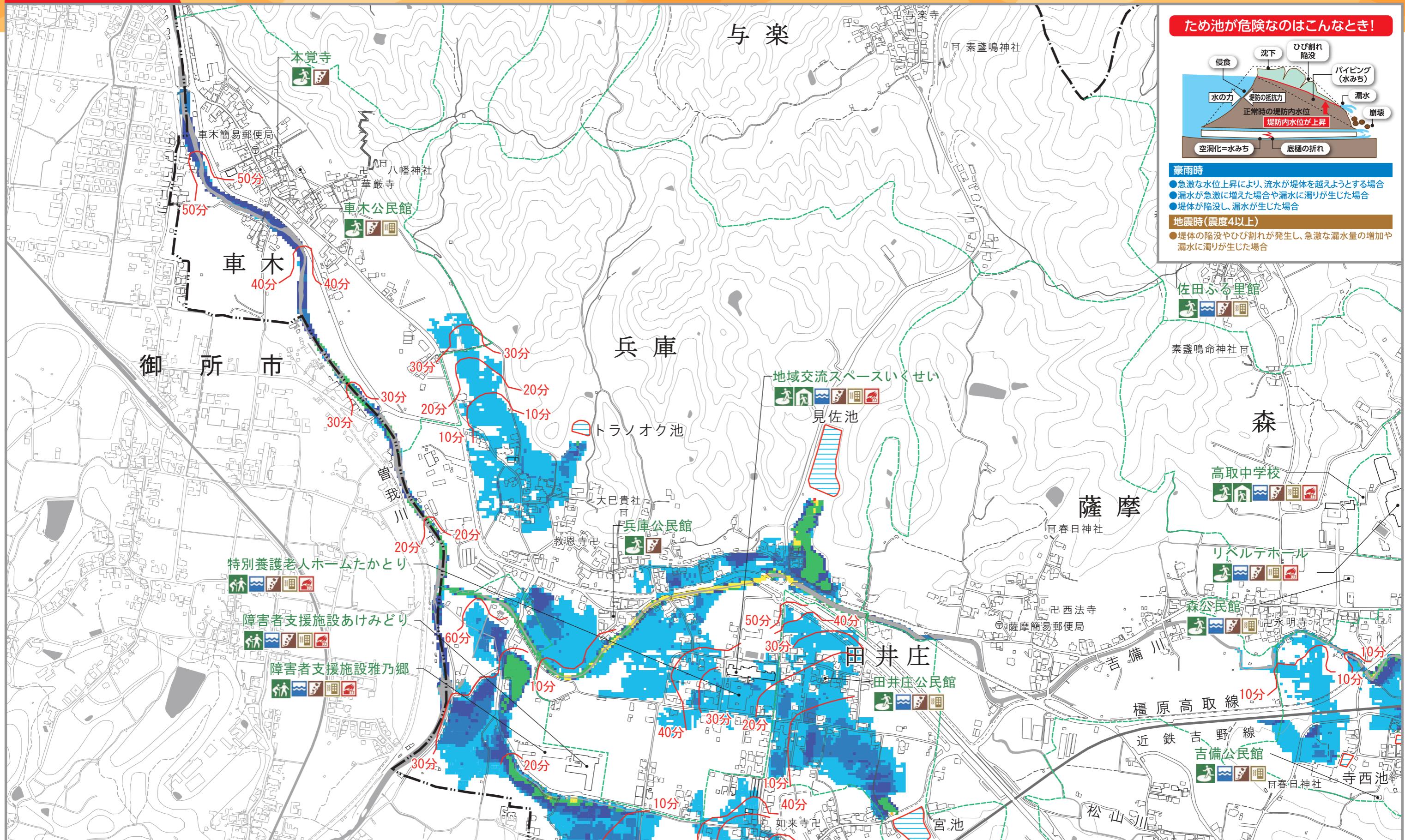
詳細図 1



1:7,000
0 100 200m N

ため池ハザードマップ

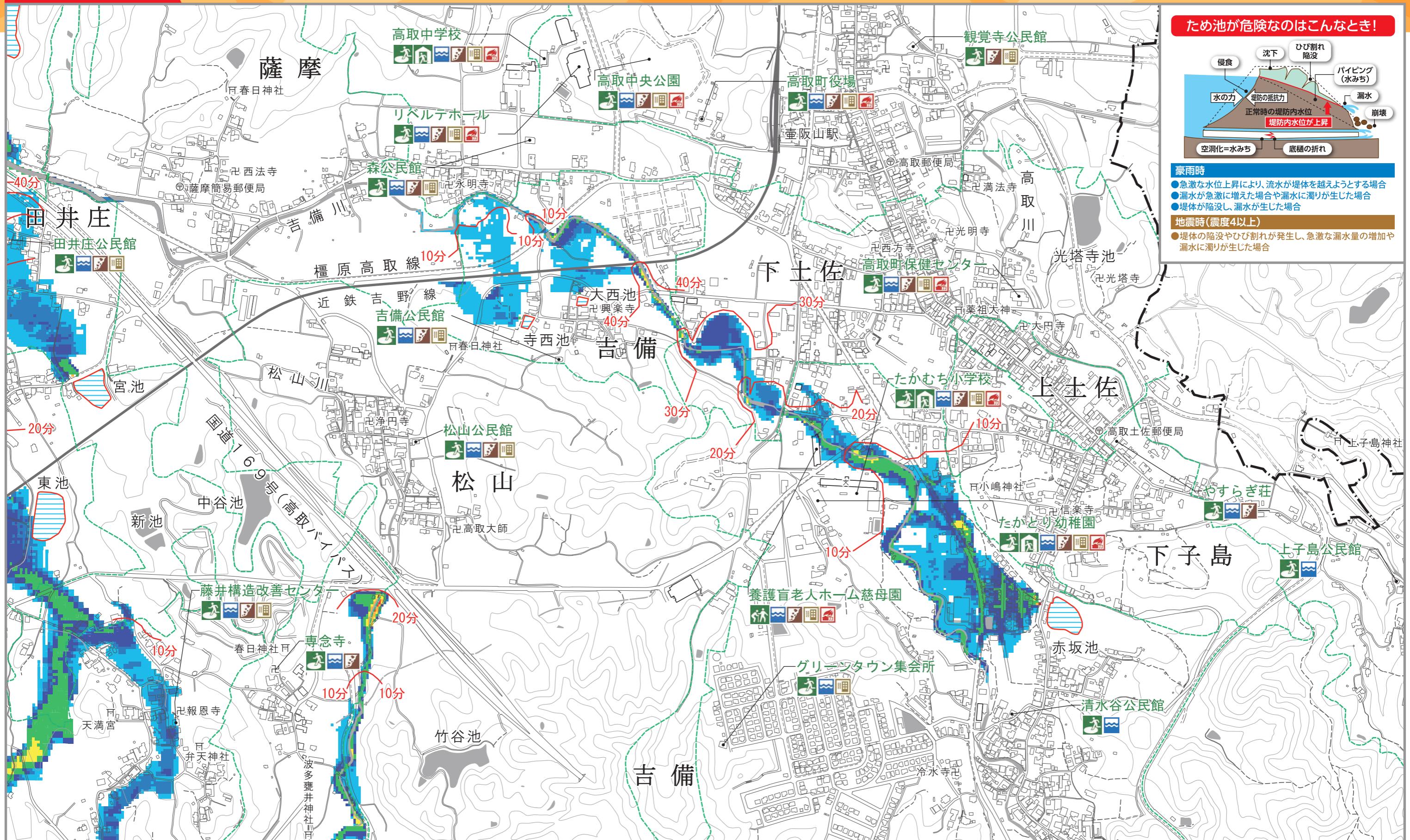
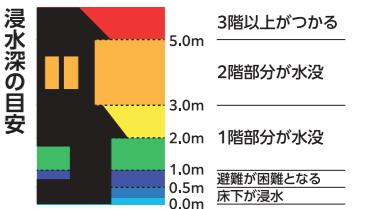
詳細図 2



1:7,000
0 100 200m N

ため池ハザードマップ

詳細図 3



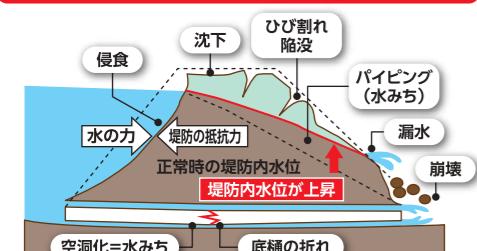
1:7,000
0 100 200m
N

ため池ハザードマップ

詳細図 4



ため池が危険なのはこんなとき!

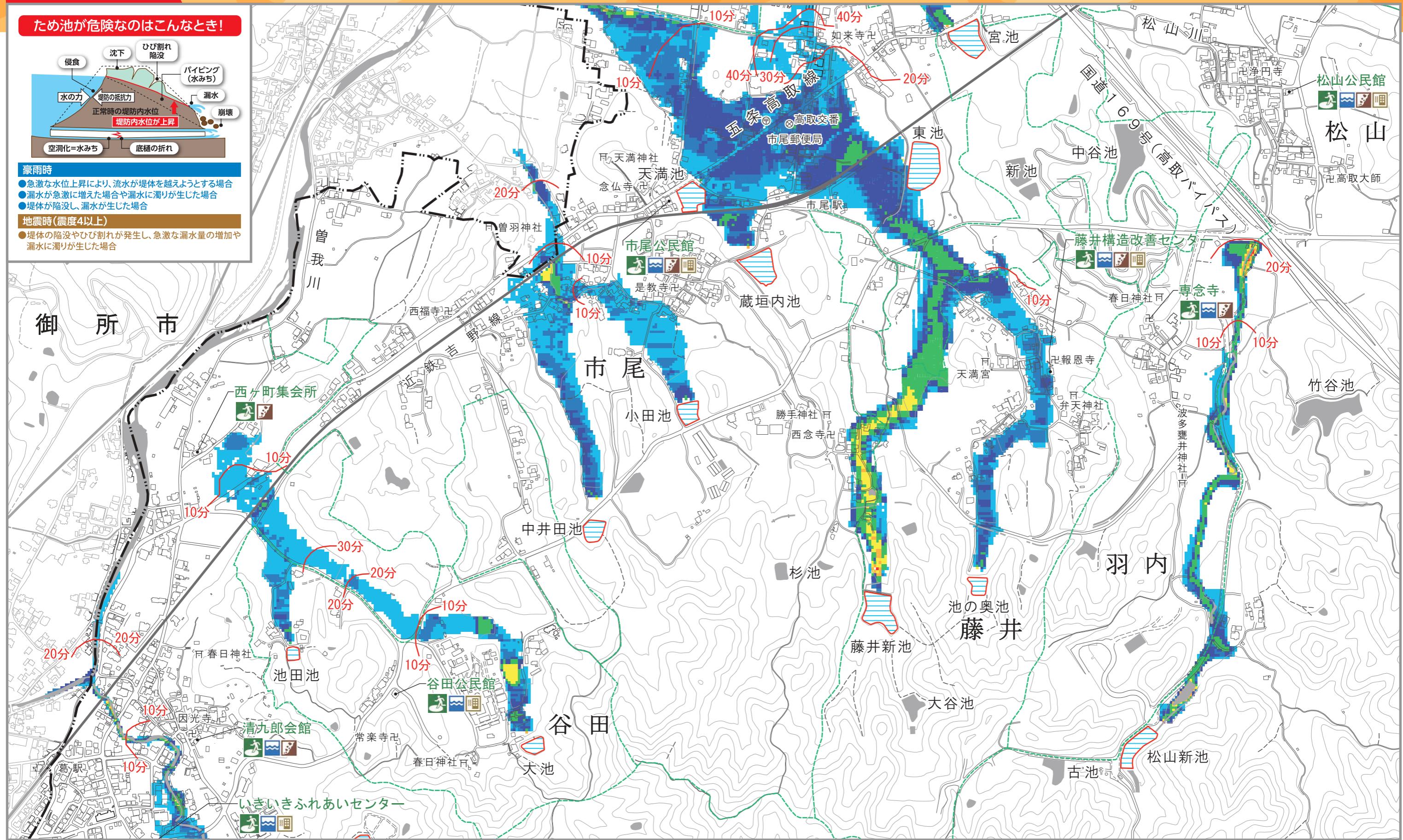


豪雨時

- 急激な水位上昇により、流水が堤体を越えようとする場合
- 漏水が急激に増えた場合や漏水に濁りが生じた場合
- 堤体が陥没し、漏水が生じた場合

地震時(震度4以上)

- 堤体の陥没やひび割れが発生し、急激な漏水量の増加や漏水に濁りが生じた場合



1:7,000
0 100 200m N

ため池ハザードマップ

詳細図 5

